

2010～2011年度  RI会長 レイ・クリンギンスミス 地区ガバナー 井橋吉一	国際ロータリー第2770地区第10グループ 三郷中央ロータリークラブ 週 報 会 長 沖 良男 幹 事 橋 和宏	例 会 9月28日(火) 第964回 例会会場 KTTレンタホール SAA 山下勝矢、大井巳喜彦 ローター特別月間 新世代のための月間	発行 会報・IT委員会 ・委員長 田中欣一 ・副委員長 谷津茂男 ・委員 浅賀紀一 大井巳喜彦 宮田 博 橋 和宏
		URL http://www.misatochuo-rc.com/ 事務局 海老原 美智子 TEL 048-953-7711 FAX 048-953-7070	

第964回:<クラブフォーラム>9月28日 KTTレンタホール

1. 点鐘 沖 良男 会長
2. ロータリーソング「奉仕の理想」
3. 会長挨拶 沖 良男 会長



今晚は、秋の彼岸も明け、秋雨全線が居座っています。この時期は嘗て稲作農家にとって稲刈りの最盛期で長雨や台風の時期にあたり多忙を極めた時代でもありました。昨今は機械化と相まって早生種のコシヒカリの普及によりあっという間に刈り取られ乾燥機にかけられ瞬く間に収穫作業が終わってしまいます。いま田んぼに残っているのはもち米ではないかと思えます。



そろそろ夏の高気圧も秋の高気圧に押し出されて前線が南にぐっと下がると愈々天高く馬肥ゆる秋、本格的な秋の到来となります。一昨日の日曜日には水と緑の環境フェスタがあり出席をしてきました。当クラブからは協賛金として2万円を拠出しています。各小学校からポスターの応募があり表彰式において中央ロータリークラブ賞を授与して参りました。宮田会員には大変にお世話になりました。



本日の例会はクラブフォーラム市民祭りについてです。宜しくお願いを申しあげ挨拶に代えます。



4. 第964回幹事報告 浅賀紀一副会長

1. 三郷市内関係から報告

- ① 三郷市商工会青年部様より花火大会のお礼状並びに決算報告書の受領。
- ② 三郷市国際交流協会様より「国際交流フェスタ」開催のご案内
 日時:10月3日(日) 午後3時30分 会場:半田公園グラウンド
 会費:1人3000円
- ③ 三郷市少年野球連盟様より秋季大会表彰式の開催のご案内
 日時:10月3日(日) 午後1時～午後4時 場所:三郷市瑞沼市民センター体育館・多目的ホール

2. ガバナー事務所からの報告

- ① 「地区大会」のご案内
 - (a) 11月13日(土) 本会議 12:00 登録、13:00 点鐘、晚餐会 18:00～20:10
 会場:浦和ロイヤルパインズホテル
 - (b) 11月14日(日) 本会議 11:00 登録、12:10 点鐘、大懇親会 18:20～19:30
 会場:越谷コミュニティセンター(サンシティ)
 登録料:会員10,000円 家族5,000円
 - (c) 国際ロータリー第770地区年次大会信任状の提出
 - (d) Ri会長代理ご夫妻歓迎晚餐会のご案内
 日時:11月13日(土) 午後6時開宴

場所:浦和ロイヤルパインズホテル 登録料:1人 15,000円

(e) 物故会員 長寿会員 ご報告のお願い

② 「ポリオ撲滅チャリティバザー・フード販売」参加のお願い

日時:10月09日(土) 10時~16時

日時:10月10日(日) 10時~17時

会場:さいたま新都心けやき広場

会場:越谷市中央市民会館 5階 第4、第5会議室 登録料:1人 1,000円

3. 他クラブ様からの報告

①三郷ロータリークラブ様より10月プログラムの受領

4. 我がクラブからの報告

①第4回理事会

日時:10月5日(火) 開始16時30分

第965回例会

日時:10月5日(火) 開始18時30分

会場:KTTレンタホール35

5. 第7回三郷市民まつり実行委員会開催のお知らせ

日時:10月4日(月) 19時~21時 場所:三郷市商工会館

6. パティオ様より「パティオ講演会」のご案内

5. 委員会報告

会員増強維持委員会 加藤地次委員長



先月11名の推薦候補について誰が行くか決めましたが、今日は会員のしおり、20周年記念誌を20冊、それから入会申込書を用意しました。

入会してもらうつもりで臨んでください。出来れば、二人から三人で行くほうが良いと思います。

6. クラブフォーラム (市民まつりについて)

社会奉仕委員会 宮田博 副委員長



会員数が少ないとやりくりが大変なようで、ウエズデーさんは26日に行われた「環境フェスタ」の協賛と出展を見合わせました。経費の節減だそうです。

例年、市民まつりに提供してもらっている、中村さんちの葱は、今年の天候不順で無理だそうです。米については60キロぐらいは出せると言うことなので、お願いいたしました。バザーについても、皆さんに協力してもらってやりたいと思います。

酒井さんから、傘を提供してもらえます。それから、ペットボトルキャンペーンの一環として、風船もやります。又新しい試みとして「玉こんにやく」の販売もいたします。これについては大井さんが詳しいので、お話を聞きたいと思います。

玉こんにやく作りについて 大井巳喜彦



玉こんにやくは山形からつゆと一緒に仕入れます。3個づつ一本の串にさし、ナベで煮るだけです。あとは持ち帰りようにパックと袋を用意してもらえれば大丈夫です。今までは、バザーが終わると早々と机をたたんでましたが、今年は忙しくなりますよ4人ぐらいの人数で交代しながらやればよいと思います。



氏名	コメント
伊藤隆	10月5日韓国ソウルにプラントの歯を入れに行ってきます。次回例会欠席。
加藤地次	増強維持をよろしくお願いたしますy。
宮田博	第24回市民まつりまで一ヶ月となりました。今回も皆様のご協力よろしくお願いたします。
沖良男	秋雨前線居座っていますが、そろそろ秋晴れになると思います。市民祭りも近づいています 会員の皆さんの出席をお願いたします。
原口健作	本日の例会は参加が少ないですね。日中の大雨のせいでしょうか？
大井巳喜彦	猛暑といい、今日豪雨といい、やはり地球温暖化の現象でしょうか？
加藤英泉	先週は、休んで上海へ行ってきました。国内の騒ぎとはまったく関係なく平穏でした。
	その他ニコニコ協力者 浅賀紀一、酒井幸晴、山下勝矢

11. 出席報告 酒井幸晴委員長

例会数	例会日	会員数	出席数	欠席数	免除	M U	出席率
第964回	9月28日	19名	10名	8名	1名	0名	50%
第963回	9月21日	19名	7名	11名	1名	0名	35%
第962回	9月14日	19名	11名	3名	1名	4名	75%

新世代のための月間にちなんで

新世代のためのRI常設プログラムは、「インターアクト」、「ローターアクト」、「ロータリー青少年指導者育成プログラム」、「ロータリー青少年交換プログラム」があります。

年齢30歳までの多数の青少年が、将来リーダーとなるために必要なスキルを身につけようと、ロータリーのプログラムに参加しています。青少年プログラムの参加者は、地域のプロジェクトや指導力開発の研修、文化交流などに参加することによって、自分自身と世界について発見することが出来ます。そのほか、ロータリアンを模範として、倫理、奉仕、親睦、の理念についても学べます。

1) ライラ(RYLA:Rotary Youth Leadership Awards)

(ロータリー青少年指導者育成プログラム)は、ロータリーが実施する若者たちのための研修プログラムです。RYLAの対象となるのは、年齢14～30歳の青少年です。が、多くのクラブや地区では14～18歳、19～30歳など年齢層を絞って実施しています。

RYLAは、リーダーシップ、良き市民、人間としての成長を強調しています。

2) インターアクト(Interact)

インターアクトは、14歳～18歳までの青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブです。

インターアクトクラブは、支援や指導を与えるロータリークラブが提唱して結成されますが、運営面でも経済的にも自立しています。

毎年、インターアクトクラブは少なくとも2つの社会奉仕プロジェクトを行い、そのうち一つは国際理解と親善を推進するものとされています。プロジェクトを通じて、インターアクター(インターアクトクラブの会員)は地元社会や海外のクラブと友情のネットワークを築きます。奉仕活動は、インターアクターの活動の真髄です。ロータリーの奉仕の中でもっとも顕著かつ急速に発展しているプログラムの1つであり、120余りの国や地域に11,000以上のクラブを要するインターアクトは、世界的な現象となりました。現在、200,000人近くの若者がインターアクトとかかわりを持っています。

3) ローターアクト(Rotary act)

ローターアクトは、18歳～30歳までの青年男女のための、ロータリーが提唱する奉仕クラブです。

ローターアクトクラブは、通常、地域社会、または大学を基盤としており、地元のロータリークラブが提唱しています。ローターアクトクラブは、提唱ロータリークラブの真の「奉仕のパートナー」でありロータリー家族の重要な一員です。ロータリーの奉仕の中でもっとも顕著かつ急速に発展しているプログラムの1つとして、200余りの国や地域にある7,000以上のローターアクトクラブを擁するローターアクトプログラムは、世界的な現象となりました。

4) 青少年交換(Youth Exchange)

世界を前進させる力。ロータリー青少年交換に参加する学生は、最高で1年間、母国以外の国でホストファミリーと生活を共にし、学校へ通います。ロータリーの長期と短期の青少年交換プログラムによって、参加者は新しい生活様式、さらには新しい言語、そして自分自身についても多くのことを発見することになります。又参加者は自国やその文化、自分の考えを出会った人たちに伝える若き親善使節として、新しい友人を作りながら、世界を一つにする役割を担います。

年間8,000人以上の若者がロータリー青少年交換を通じて貴重な体験をしています。